

4. 介護予防に関する公的研究費採択一覧

(1) 厚生労働科学研究成果データベース

ID=200921031A
介護予防サービスの効果評価に関する研究. 辻 一郎(東北大学 大学院医学系研究科)、平成 21(2009)年度-平成 23(2011)年度
ID=200921032A
介護予防における口腔機能向上・維持管理の推進に関する研究. 菊谷 武(日本歯科大学 生命歯学部)、平成 21(2009)年度-平成 23(2011)年度
ID=200921037A
腰痛の診断、治療に関する研究「腰部脊柱管狭窄症の診断・治療法の開発」. 高橋 和久(千葉大学医学部)、平成 21(2009)年度-平成 23(2011)年度
ID=200921042A
認知症・関節症・骨折の疫学エビデンスの解明と要介護高齢者の一次・二次予防のための効率的 評価システムの開発. 岡 敬之(東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター関節疾患総合研究講座)、平成 21(2009) 年度-平成 23(2011)年度
ID=200926046A
温泉利用が健康増進に与える効果および安全性に関する研究. 藤原 佳典(地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 東京都健康長寿医療センター研究 所)、平成 21(2009)年度-平成 23(2011)年度
ID=200901025A
行政と住民ネットワークの連携による孤立予防戦略の検証. 藤原 佳典(地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 東京都健康長寿医療センター研究 所)、平成 20(2008)年度-平成 22(2010)年度
ID=200921027A
膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予防のための地域代表性を有する大規模住民コホート追跡 研究. 吉村 典子(東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター関節疾患総合研究講座)、平成 20(2008)年度-平成 24(2012)年度
ID=200922008A
血液、尿等、生体への侵襲が少ないバイオマーカーを用いた診断方法に関する研究. 松原 悦朗(弘前大学 大学院医学研究科)、平成 20(2008)年度-平成 22(2010)年度
ID=200801042A
行政と住民ネットワークの連携による孤立予防戦略の検証. 藤原 佳典(東京都高齢者研究・福祉振興財団 東京都老人総合研究所)、平成 20(2008)年度-平成 22(2010)年度
ID=200821068A
血液、尿等、生体への侵襲が少ないバイオマーカーを用いた診断方法に関する研究. 松原 悦朗(弘前大学 医学研究科)、平成 20(2008)年度-平成 22(2010)年度

ID=200821071A
膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予防のための地域代表性を有する大規模住民コホート追跡研究. 吉村 典子(東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター関節疾患総合研究講座)、平成 20(2008)年度-平成 24(2012)年度
ID=200921014A
食生活・栄養素摂取状況が高齢者の健康寿命に与える影響に関する研究：NIPPON DATA 80・90の追跡調査. 上島 弘嗣(国立大学法人滋賀医科大学 生活習慣病予防センター)、平成 19(2007)年度-平成 21(2009)年度
ID=200925011A
がん医療における医療と介護の連携のあり方に関する研究. 小松 恒彦(帝京大学 医学部第三内科)、平成 19(2007)年度-平成 21(2009)年度
ID=200821055A
認知症予防のための心理社会面に着目した包括的支援に関する研究. 竹田 徳則(星城大学 リハビリテーション学部)、平成 19(2007)年度-平成 21(2009)年度
ID=200821059A
開眼片足起立時間による高齢者元気度区分と転倒・骨折調査、並びに片脚起立15秒以下の群に対する開眼片脚起立運動訓練による骨折予防への無作為化介入調査に関する研究. 阪本 桂造(昭和大学医学部 整形外科)、平成 19(2007)年度-平成 21(2009)年度
ID=200824038A
がん医療における医療と介護の連携のあり方に関する研究. 小松 恒彦(帝京大学 第三内科)、平成 19(2007)年度-平成 21(2009)年度
ID=200840022A
地域における健康危機管理におけるボランティア等による支援体制に関する研究. 尾島 俊之(浜松医科大学 医学部健康社会医学講座)、平成 19(2007)年度-平成 21(2009)年度
ID=200718078A
認知症予防のための心理社会面に着目した包括的支援に関する研究. 竹田 徳則(星城大学リハビリテーション学部)、平成 19(2007)年度-平成 21(2009)年度
ID=200801005A
介護保険制度改正にともなう予防重視効果の検証 ―介護予防ケアマネジメントシステムの構築を目指して. 大川 弥生(国立長寿医療センター 研究所 生活機能賦活研究部)、平成 18(2006)年度-平成 20(2008)年度
ID=200821005A
効果的な介護予防型訪問・通所リハビリテーションの実態把握からみた自立生活支援プログラムの開発評価に関する研究. 高山 忠雄(鹿児島国際大学 大学院福祉社会学研究科)、平成 18(2006)年度-平成 20(2008)年度

ID=200821008A
認知機能に着目した新たな介護予防プログラムの開発に関する研究. 田高 悦子(公立大学法人横浜市立大学 医学部看護学科地域看護学領域)、平成 18(2006)年度-平成 20(2008)年度
ID=200821009A
効果的な介護予防ケアマネジメント技法の開発に関する研究. 辻 一郎(東北大学 大学院医学系研究科)、平成 18(2006)年度-平成 20(2008)年度
ID=200825002A
温泉利用と生活・運動・食事指導を組み合わせた職種別の健康支援プログラムの有効性に関する研究. 上岡 洋晴(東京農業大学 地域環境科学部教養分野)、平成 18(2006)年度-平成 20(2008)年度
ID=200835025A
笑顔を引き出すテレビ電話を使った遠隔医療と在宅高齢者を支援するユビキタスコミュニケーションの効果に関する研究. 古城 幸子(公立大学法人 新見公立短期大学 看護学科)、平成 18(2006)年度-平成 20(2008)年度
ID=200701021A
介護保険制度改正にともなう予防重視効果の検証ー介護予防ケアマネジメントシステムの構築を目指して. 大川 弥生(国立長寿医療センター研究所生活機能賦活研究部)、平成 18(2006)年度-平成 20(2008)年度
ID=200718015A
歯周組織再生を基盤とした咀嚼機能改善技術の開発. 斎藤 正寛(大阪大学 大学院歯学研究科)、平成 18(2006)年度-平成 20(2008)年度
ID=200718016A
低侵襲かつ簡便な摂食・嚥下機能評価システムの構築に関する研究. 金高 弘恭(東北大学 特定領域研究推進支援センター, 大学院歯学研究科(兼)),平成 18(2006)年度-平成 20(2008)年度
ID=200718018A
効果的な介護予防型訪問・通所リハビリテーションの実態把握からみた自立生活支援プログラムの開発評価に関する研究. 高山 忠雄(鹿児島国際大学 大学院福祉社会科学研究科)、平成 18(2006)年度-平成 20(2008)年度
ID=200718024A
認知機能に着目した新たな介護予防プログラムの開発に関する研究. 田高 悦子(公立大学法人横浜市立大学医学部)、平成 18(2006)年度-平成 20(2008)年度
ID=200718025A
効果的な介護予防ケアマネジメント技法の開発に関する研究. 辻 一郎(東北大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学分野)、平成 18(2006)年度-平成 20(2008)年度

ID=200718028A
大規模コホートの観察研究に基づく生活機能低下スクリーニング質問表の開発. 高田 和子(独立行政法人国立健康・栄養研究所健康増進プログラム)、平成 18(2006)年度-平成 20(2008)年度
ID=200718029A
介護予防の効果評価とその実効性を高めるための地域包括ケアシステムの在り方に関する実証研究. 川越 雅弘(国立社会保障・人口問題研究所 社会保障応用分析研究部)、平成 18(2006)年度-平成 19(2007)年度
ID=200601044A
介護保険制度改正にともなう予防重視効果の検証-介護予防ケアマネジメントシステムの構築を目指して. 大川 弥生(国立長寿医療センター研究所生活機能賦活研究部)、平成 18(2006)年度-平成 20(2008)年度
ID=200601049A
都市部における介護サービス利用者実態調査に基づく平成 17 年度介護保険制度改正の分析と評価-高齢者の自立支援と地域ケア支援体制の確立に向けて. 森 詩恵(大阪経済大学 経済学部)、平成 18(2006)年度-平成 19(2007)年度
ID=200619062A
低侵襲かつ簡便な摂食・嚥下機能評価システムの構築に関する研究. 金高 弘恭(東北大学大学院歯学研究科)、平成 18(2006)年度-平成 20(2008)年度
ID=200619065A
効果的な介護予防型訪問・通所リハビリテーションの実態把握からみた自立生活支援プログラムの開発評価に関する研究. 高山 忠雄(鹿児島国際大学 大学院福祉社会学研究科)、平成 18(2006)年度-平成 20(2008)年度
ID=200619071A
認知機能に着目した新たな介護予防プログラムの開発に関する研究. 田高 悦子(国立大学法人東京大学 大学院医学系研究科)、平成 18(2006)年度-平成 20(2008)年度
ID=200619072A
効果的な介護予防ケアマネジメント技法の開発に関する研究. 辻 一郎(東北大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学分野)、平成 18(2006)年度-平成 20(2008)年度
ID=200619074A
予防版MD S-HCによる介護予防マネジメントの一体的な実施に関する研究. 山田 ゆかり(国立大学法人東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科)、平成 18(2006)年度-平成 18(2006)年度
ID=200619076A
大規模コホートの観察研究に基づく生活機能低下スクリーニング質問表の開発. 高田 和子(独立行政法人国立健康・栄養研究所健康増進プログラム)、平成 18(2006)年度-平成 20(2008)年度

ID=200619077A
介護予防の効果評価とその実効性を高めるための地域包括ケアシステムの在り方に関する実証研究. 川越 雅弘(国立社会保障・人口問題研究所)、平成 18(2006)年度・平成 19(2007)年度
ID=200619089A
効果的転倒予測技術の開発と転倒予防介入による生活機能の持続的改善効果に関する縦断研究. 鳥羽 研二(杏林大学医学部高齢医学教室)、平成 18(2006)年度・平成 20(2008)年度
ID=200619101A
虚弱高齢者の歩行維持の機能的評価システムの開発に関する研究. 山下 和彦(東京医療保健大学医療保健学部)、平成 18(2006)年度・平成 19(2007)年度
ID=200624044A
民間衛生施設を活用した健康増進のための効果的なシステムの開発及び評価に関する研究. 大賀 英史(独立行政法人国立健康・栄養研究所 国際産学連携センター)、平成 18(2006)年度・平成 20(2008)年度
ID=200634109A
笑顔を引き出すテレビ電話を使った遠隔医療と在宅高齢者を支援するユビキタスコミュニケーションの効果に関する研究. 古城 幸子(新見公立短期大学 看護学科)、平成 18(2006)年度・平成 20(2008)年度
ID=200718001A
老人施設・在宅における高齢者排泄リハビリテーションに関する施設評価基準の作成と地域モデルの開発. 後藤 百万(名古屋大学大学院医学系研究科泌尿器科学)、平成 17(2005)年度・平成 19(2007)年度
ID=200718003A
中高年健康増進のための I T による地域連携型運動処方システムの構築. 能勢 博(信州大学大学院・スポーツ医科学分野)、平成 17(2005)年度・平成 19(2007)年度
ID=200718006A
要介護認定における要支援及び要介護 1 の要介護度の推移の状況とその要因からみた介護予防プログラムの開発に関する研究. 和泉 京子(大阪府立大学看護学部)、平成 17(2005)年度・平成 19(2007)年度
ID=200718009A
地域支援事業における体力向上サービスのあり方に関する研究. 安村 誠司(福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座)、平成 17(2005)年度・平成 19(2007)年度
ID=200718010A
生活機能向上にむけた介護予防サービスのあり方及び技術に関する研究－「廃用症候群（生活不活発病）モデル」を中心に. 大川 弥生(国立長寿医療センター 研究所 生活機能賦活研究部)、平成 17(2005)年度・平成 19(2007)年度

ID=200722006A
公衆浴場を利用した安全で有効な健康づくりに関する研究. 鏡森 定信(富山大学 大学院医学薬学研究部)、平成 17(2005)年度・平成 19(2007)年度
ID=200619019A
老人施設・在宅における高齢者排泄リハビリテーションに関する施設評価基準の作成と地域モデルの開発. 後藤 百万(名古屋大学大学院医学系研究科病態外科学講座泌尿器科学)、平成 17(2005)年度・平成 19(2007)年度
ID=200619027A
中高年健康増進のための I T による地域連携型運動処方システムの構築. 能勢 博(信州大学大学院医学研究科・スポーツ医科学分野)、平成 17(2005)年度・平成 19(2007)年度
ID=200619030A
健康長寿に関与する要因の研究ー超百寿者及び長寿 s i b 調査. 広瀬 信義(慶応義塾大学 医学部)、平成 17(2005)年度・平成 18(2006)年度
ID=200619035A
要介護認定における要支援及び要介護 1 の要介護度の推移の状況とその要因からみた介護予防プログラムの開発に関する研究. 和泉 京子(大阪府立大学看護学部)、平成 17(2005)年度・平成 19(2007)年度
ID=200619041A
小規模多機能サービス拠点の成立条件と多面的展開に関するビジネスモデルの構築とマニュアル作成. 杉岡 直人(北星学園大学社会福祉学部)、平成 17(2005)年度・平成 18(2006)年度
ID=200619046A
高齢者の運動機能低下評価法と回復運動療法開発研究. 越智 隆弘(社団法人日本整形外科学会)、平成 17(2005)年度・平成 18(2006)年度
ID=200619047A
骨粗鬆症と骨折に対する予防対策の経済効果に関する研究. 濃沼 信夫(東北大学大学院医学系研究科)、平成 17(2005)年度・平成 18(2006)年度
ID=200619048A
軽度認知症高齢者の介護予防及び症状緩和システム開発に関する研究. 内藤 佳津雄(日本大学 文理学部)、平成 17(2005)年度・平成 18(2006)年度
ID=200619051A
地域支援事業における体力向上サービスのあり方に関する研究. 安村 誠司(福島県立医科大学 医学部公衆衛生学講座)、平成 17(2005)年度・平成 19(2007)年度

ID=200619053A
生活機能向上にむけた介護予防サービスのあり方及び技術に関する研究―「廃用症候群（生活不活発病）モデル」を中心に。 大川 弥生(国立長寿医療センター研究所生活機能賦活研究部)、平成 17(2005)年度-平成 19(2007)年度
ID=200624025A
公衆浴場を利用した安全で有効な健康づくりに関する研究。 鏡森 定信(富山大学 医学部)、平成 17(2005)年度-平成 19(2007)年度
ID=200500054A
介護予防対策の費用対効果に着目した経済的評価に関する研究―過疎地域町村における介護予防対策事業の経済的・社会的効果と評価指標の考察―。 水谷 利亮(高知短期大学 社会科学科)、平成 17(2005)年度-平成 17(2005)年度
ID=200500287A
骨粗鬆症と骨折に対する予防対策の経済効果に関する研究。 濃沼 信夫(東北大学大学院医学系研究科)、平成 17(2005)年度-平成 18(2006)年度
ID=200500288A
生活機能向上にむけた介護予防サービスのあり方及び技術に関する研究―「廃用症候群（生活不活発病）モデル」を中心に。 大川 弥生(国立長寿医療センター研究所 生活機能賦活研究部)、平成 17(2005)年度-平成 19(2007)年度
ID=200500329A
中高年健康増進のための I T による地域連携型運動処方システムの構築。 能勢 博(信州大学大学院医学研究科・スポーツ医科学分野)、平成 17(2005)年度-平成 19(2007)年度
ID=200500336A
要介護認定における要支援及び要介護 1 の要介護度の推移の状況とその要因からみた介護予防プログラムの開発に関する研究。 和泉 京子(大阪府立大学看護学部)、平成 17(2005)年度-平成 19(2007)年度
ID=200500345A
軽度認知症高齢者の介護予防及び症状緩和システム開発に関する研究。 内藤 佳津雄(日本大学 文理学部)、平成 17(2005)年度-平成 18(2006)年度
ID=200500352A
老人施設・在宅における高齢者排泄リハビリテーションに関する施設評価基準の作成と地域モデルの開発。 後藤 百万(名古屋大学医学部附属病院)、平成 17(2005)年度-平成 19(2007)年度
ID=200619007A
要支援者および軽度要介護者の介護サービスの計画および標準化に関する研究。 杉原 素子(国際医療福祉大学 保健学部)、平成 16(2004)年度-平成 18(2006)年度

ID=200624002A
地方健康増進計画の技術的支援に関する研究. 河原 和夫(東京医科歯科大学大学院政策科学分野)、平成 16(2004)年度-平成 18(2006)年度
ID=200500018A
高齢転倒経験者における介護予防対策の費用対効果に関する研究. 岡本 連三(神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部)、平成 16(2004)年度-平成 17(2005)年度
ID=200500018B
高齢転倒経験者における介護予防対策の費用対効果に関する研究. 岡本 連三(神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部)、平成 16(2004)年度-平成 17(2005)年度
ID=200500272A
介護予防サービスの新技術開発とシステム構築に関する研究. 辻 一郎(東北大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学分野)、平成 16(2004)年度-平成 17(2005)年度
ID=200500273A
要介護状態の予防ならびに介護の質を改善するための方策に関する研究. 岸 玲子(北海道大学大学院医学研究科 予防医学講座公衆衛生学分野)、平成 16(2004)年度-平成 17(2005)年度
ID=200500276A
老人保健事業の推進及び評価に関する研究. 吉田 勝美(聖マリアンナ医科大学 医学部)、平成 16(2004)年度-平成 18(2006)年度
ID=200500278A
高齢者の社会参加・社会貢献の増進に向けた介入研究. 新開 省二(財団法人東京都高齢者研究・福祉振興財団 東京都老人総合研究所)、平成 16(2004)年度-平成 18(2006)年度
ID=200500296A
介護予防筋力向上トレーニングの効果の検討. 大淵 修一(財団法人東京都高齢者研究・福祉振興財団／東京都老人総合研究所)、平成 16(2004)年度-平成 17(2005)年度
ID=200500298A
介護予防を目的とする基本健康診査標準方式を策定するための疫学的研究. 安田 誠史(高知大学医学部公衆衛生学教室)、平成 16(2004)年度-平成 17(2005)年度
ID=200500308A
要支援者および軽度要介護者の介護サービスの計画および標準化に関する研究. 杉原 素子(国際医療福祉大学保健学部)、平成 16(2004)年度-平成 18(2006)年度

ID=200500310A
介護予防のための低栄養状態スクリーニング・システムに関する研究. 杉山 みち子(神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科)、平成 16(2004)年度-平成 17(2005)年度
ID=200500365A
寝たきりの主要因に対する縦断介入研究を基礎にした介護予防ガイドライン策定研究. 鳥羽 研二(杏林大学医学部高齢医学教室)、平成 16(2004)年度-平成 17(2005)年度
ID=200500372A
虚弱高齢者の自立度と身体活動及び栄養の関係に関する実践研究. 高田 和子(独立行政法人 国立健康・栄養研究所健康増進研究部)、平成 16(2004)年度-平成 17(2005)年度
ID=200500375A
軽度介護予防プログラムの作成とその評価. 高橋 泰(国際医療福祉大学医療福祉学部)、平成 16(2004)年度-平成 17(2005)年度
ID=200500002A
介護予防対策の費用対効果に着目した経済的評価に関する研究. 新開 省二(財団法人東京都高齢者研究・福祉振興財団 東京都老人総合研究所)、平成 15(2003)年度-平成 17(2005)年度
ID=200500318A
訪問・通所リハビリテーションの地域特性別実態把握からみた在宅自立生活支援プログラムの開発評価に関する研究. 高山 忠雄(鹿児島国際大学大学院 福祉社会学研究科)、平成 15(2003)年度-平成 17(2005)年度
ID=200501221A
総合的な地域保健サービスに関する企画立案及び事業管理に関する研究. 松浦 十四郎(財団法人 日本公衆衛生協会)、平成 15(2003)年度-平成 17(2005)年度

(2) 科学研究費補助金採択課題・成果概要データベース

ID=22300239
農地や森林の活用を視野に入れた高齢者の自主活動が介護予防に寄与できるか. 植木 章三 東北文化学園大学・教授 (00241802)、2010 年度～2010 年度
ID=22500636
ストックを用いた運動に着目した生活習慣病および介護予防の効果とそのプログラム構築. 寄本 明 滋賀県立大学・教授 (30132278)、2010 年度～2010 年度
ID=22530666
ソーシャル・キャピタル構築への介入が介護予防に及ぼす効果に関する縦断研究. 川島 典子 筑紫女学園大学短期大学部・講師 (30455092)、2010 年度～2010 年度
ID=22590594
普及を目指した介護予防施策の評価指標のプログラム化と実用化. 栗盛 須雅子 首都大学東京・都市環境科学研究科・研究員 (20433609)、2010 年度～2010 年度
ID=22592539
地域性を考慮した冬期の介護予防プログラム構築に関する研究. 表 志津子 金沢大学・保健学系・准教授 (10320904)、2010 年度～2010 年度
ID=22592575
元気高齢者への看護・リハビリの協働的介入による継続的介護予防・評価システムの開発. 木立 るり子 弘前大学・保健学研究科・准教授 (60197192)、2010 年度～2010 年度
ID=22700714
地域包括支援センターにおける介護予防教室と共食の統合による高齢者の健康増進. 柏 絵理子 神奈川県立保健福祉大学・保健福祉学部・助教 (30405047)、2010 年度～2010 年度
ID=22792247
効果的な介護予防ケアの推進に向けた要支援前期高齢女性の社会活動尺度の開発. 平野 美千代 北海道大学・助教 (50466447)、2010 年度～2010 年度
ID=21500638
膝痛・腰痛高齢者に対する要介護予防のための水中運動プログラムの開発と評価. 村岡 功 早稲田大学・スポーツ科学学術院・教授 (80112712)、2009 年度～2010 年度
ID=21500653
介護予防プログラムの効果を高める自己学習型ニーズ評価システムの開発. 小林 法一 首都大学東京・准教授 (30333652)、2009 年度～2010 年度
ID=21500696
介護予防運動プログラムの医療経済的評価に関する研究. 岡 浩一郎 早稲田大学・スポーツ科学学術院・准教授 (00318817)、2009 年度～2010 年度
ID=21590728
地域全体を視野に入れた介護予防推進システムの経済的評価. 吉田 裕人 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター(東京都健康長寿医療センター研究所)・研究員 (40415493)、2009 年度～2010 年度
ID=21592876
地域高齢者の介護予防事業への参加状況と生活機能の変化に関する追跡調査. 浜崎 優子 金沢医科大学・看護学部・助教 (00454231)、2009 年度～2010 年度

ID=21592878
摂食・嚥下機能低下がみられた脳血管疾患患者への介護予防のための前向き介入研究. 馬場 みちえ 福岡大学・医学部・准教授 (60320248)、2009 年度～2010 年度
ID=21592899
介護予防のための研究 - 老年者の活動能力低下と運動視機能及び身体運動機能の関連. 丹羽 さよ子 鹿児島大学・医学部・教授 (00197550)、2009 年度～2010 年度
ID=21592913
特定高齢者における介護予防としての睡眠健康:睡眠の実態と睡眠改善プログラムの検討. 小松 光代 京都府立医科大学・医学部・講師 (20290223)、2009 年度～2010 年度
ID=21650189
軽費老人ホーム(B 型)入居者の介護予防に合致した食の自立支援. 爲房 恭子 武庫川女子大学短期大学部・教授 (00388802)、2009 年度～2010 年度
ID=21700685
介護予防ボランティア活動が中高年者のメンタルヘルスに及ぼす影響. 甲斐 裕子 (財)明治安田厚生事業団体力医学研究所・研究員 (20450752)、2009 年度～2010 年度
ID=21792339
介護予防訪問看護の健康維持・増進に対する効果の検討. 川野 英子 国際医療福祉大学・保健医療学部・講師 (90458414)、2009 年度～2010 年度
ID=21792344
介護予防事業への継続参加を支援するための看護介入のあり方に関する研究. 中田 晴美 東京女子医科大学・看護学部・講師 (90385469)、2009 年度～2010 年度
ID=0
体幹部骨格筋量の増大がメタボリック症候群の改善および介護予防に及ぼす影響. 田中 憲子 独立行政法人国立健康・栄養研究所、2009 年度～2010 年度
ID=20240061
高齢者のエネルギー消費量決定要因の横断的・縦断的検証(体力,筋細胞量に注目して). 木村 みさか 京都府立医科大学・医学部・教授 (90150573)、2008 年度～2010 年度
ID=20300206
後期高齢者にも有効な脚筋力養成型ウォーキング手法の開発と健康づくり応用. 川初 清典 北海道大学・教授 (80026822)、2008 年度～2010 年度
ID=20300218
温熱刺激による骨格筋肥大の分子機構の解明とスポーツ科学への応用. 後藤 勝正 (山下 勝正) 豊橋創造大学・保健医療学部・教授 (70239961)、2008 年度～2010 年 度
ID=20330121
住民主導型介護予防活動に関する学際的研究. 坂本 俊彦 山口県立大学・准教授 (40342315)、2008 年度～2010 年度
ID=20330130
予後予測モデルによる「介護予防サービス提供ガイドライン」の開発研究. 筒井 孝子 国立保健医療科学院・その他 (20300923)、2008 年度～2010 年度
ID=20390189
後期高齢者における VDR 遺伝子多型と筋肉量減少症および生活機能低下に関する研究.

鈴木 隆雄 独立行政法人国立長寿医療研究センター・その他 (30154545)、2008 年度～2010 年度 ID=20500172
口腔機能とバイタルサインの無拘束計測による生活リズム分析と生活習慣病予防システム. 松村 雅史 大阪電気通信大学・教授 (80209618)、2008 年度～2010 年度 ID=20500484
高濃度人工炭酸浴による血行促進効果がもたらす下肢痛改善効果とその介護予防への応用. 宮下 和久 和歌山県立医科大学・医学部・教授 (50124889)、2008 年度～2010 年度 ID=20500494
高齢者居住施設や家庭で何気なく利用できる身体機能維持・評価システムの開発. 大須賀 美恵子 大阪工業大学・工学部・教授 (10351462)、2008 年度～2010 年度 ID=20500498
組込技術を活用した介護予防用高機能中敷きの開発. 早川 恭弘 奈良工業高等専門学校・教授 (50180956)、2008 年度～2010 年度 ID=20500597
阿波踊りを活用した健康体操の開発とその機能・効用に関する研究. 田中 俊夫 徳島大学・教授 (00263872)、2008 年度～2010 年度 ID=20500642
介護予防プログラムの効果予測に関する研究. 新井 武志 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター(東京都健康長寿医療センター研究 所)・研究員 (70450559)、2008 年度～2010 年度 ID=20590627
作業バランス自己診断に着目したテーラーメイド型介護予防法の開発:無作為化介入研究. 湯浅 資之 順天堂大学・医学(系)研究科(研究院)・准教授 (30463748)、2008 年度～2010 年度 ID=20592269
補綴治療の抗加齢作用を増強する機能レーダーチャートの新開発. 津賀 一弘 広島大学・医歯(薬)学総合研究科・准教授 (60217289)、2008 年度～2010 年度 ID=20592621
高齢者のエンパワメントに着目した介護予防活動の評価に関する研究. 佐藤 紀子 千葉大学・看護学研究科・准教授 (80283555)、2008 年度～2010 年度 ID=20592634
豪雪過疎地域の高齢者の自立生活継続のための介護予防マネジメント技術の検討. 飯古 令枝 新潟県立看護大学・看護学部・講師 (40279849)、2008 年度～2010 年度 ID=20592655
家族介護意識・介護ストレスに着目した血圧低減プログラムの開発. 堀 容子 名古屋大学・医学部・准教授 (90352905)、2008 年度～2010 年度 ID=20592681
認知症高齢者の生きる力を支援するフットケアプログラムの開発. 西田 佳世 愛媛県立医療技術大学・保健科学部・准教授 (60325412)、2008 年度～2010 年度 ID=20659369
在宅高齢者における介護予防に向けたフットケアプログラムの開発. 姫野 稔子 日本赤十字九州国際看護大学・看護学部・講師 (50364188)、2008 年度～2010 年度

ID=20730397
通所介護における要支援高齢者の自己効力感を高める介護予防プログラムの開発. 津島 順子 福山市立女子短期大学・准教授 (70321213)、2008 年度～2010 年度
ID=20791810
閉じこもり高齢者の死亡および状態悪化リスク要因の検討と応用. 梶 勇三郎 久留米大学・医学部・講師 (30368964)、2008 年度～2010 年度
ID=0
高齢者の筋力トレーニング実施を促す地域介入手法の開発：行動疫学的アプローチ. 原田 和弘 早稲田大学、2008 年度～2010 年度
ID=20700470
地域在住高齢者のための歩行改善アドバイスシステムの開発. 河合 恒 東京都高齢者研究財団・研究員 (50339727)、2008 年度～2009 年度
ID=20791770
介護予防サービス利用者における自律性の評価に関する研究. 松井 美帆 長崎大・医歯(薬)学総合研究科・准教授 (60346559)、2008 年度～2009 年度
ID=20830142
地域システムへの介入が一般高齢者の介護予防サービスに及ぼす効果に関する研究. 川島 典子 筑紫女学園大短大・講師 (30455092)、2008 年度～2009 年度
ID=20890010
前期高齢女性への効果的な介護予防ケア-社会的活動と生活意欲に着目して-. 平野 美千代 北大・助教 (50466447)、2008 年度～2009 年度
ID=0
わが国における高齢者ソーシャルワークの実践モデルの開発に関する理論的・実証的研究. 武居 幸子 上智大学・大学院・総合人間科学研究科・特別研究員(DC2)、2008 年度～2009 年度
ID=19200047
要介護化予防を目的とした中・高齢期の身体機能改善のための包括的指針づくり. 田中 喜代次 筑波大・人間総合科学研究科・教授 (50163514)、2007 年度～2009 年度
ID=19300229
メタボリックシンドローム予防を可能とする世代別の筋力水準及び運動プログラムの開発. 久野 譜也 筑波大・人間総合科学研究科・准教授 (70242021)、2007 年度～2009 年度
ID=19300236
老年症候群の複数徴候保持者の徴候改善を目指す包括的介護予防プログラムの効果検証. 金 憲経 東京都高齢者研究財団 (20282345)、2007 年度～2009 年度
ID=19500645
高齢者の在宅生活を支援する地域密着型サービスに関する研究. 村田 順子 東大阪大短大・准教授 (90331735)、2007 年度～2009 年度
ID=19530496
エビデンスに基づく高齢者福祉実践のあり方に関する研究. 和気 純子 首都大学東京・人文科学・准教授 (80239300)、2007 年度～2009 年度
ID=19590621
虚弱高齢者のふらつき・転倒と血清ビタミン D 濃度との関連及び介護予防の介入研究. 奥野 純子 筑波大・人間総合科学研究科・講師 (50360342)、2007 年度～2009 年度

ID=19590625
生活習慣病等へのポピュレーション・アプローチの具体的方法とその効果に関する研究. 尾島 俊之 浜松医大・医学部・教授 (50275674)、2007 年度～2009 年度
ID=19590649
介護予防事業におけるボランティア活動がボランティア自身の QOL の向上に及ぼす影響. 芳賀 博 桜美林大・自然科学系・教授 (00132902)、2007 年度～2009 年度
ID=19592601
都市高齢者の健康寿命延伸の推進活動に関する 6 年間の追跡評価研究. 桜井 尚子 弘前学院大・看護学部・教授 (80256388)、2007 年度～2009 年度
ID=19650192
サルコペニア進行の予測マーカーとしての ACTN3 遺伝子型の活用. 内藤 久士 順天堂大・スポーツ健康科学部・准教授 (70188861)、2007 年度～2009 年度
ID=19659500
歯の喪失は脳へどのようにストレスを与えるか-小胞体ストレスの局在と経時的変動-. 渡辺 誠 東北大・歯学研究科(研究院) (80091768)、2007 年度～2009 年度
ID=19700437
サルコペニア対策としての熱刺激の有用性に関する実験的アプローチ. 中野 治郎 長崎大・医歯(薬)学総合研究科・助教 (20380834)、2007 年度～2009 年度
ID=19791753
包括支援センターにおける介護予防ネットワークの構築に関する介入研究. 臼井 香苗 京大・医学(系)研究科(研究院)・助教 (50432315)、2007 年度～2009 年度
ID=19500575
北海道内の過疎地における住民主体の健康づくり支援に関する実践的研究. 北澤 一利(KITAZAWA, Kazutoshi) 北海道教育大学・教育学部・准教授 (00204884)、2007 年度～2008 年度
ID=19500594
重心動揺の新たな危険因子としての潜在的動脈硬化 -頸動脈超音波検査による検討-. 宮松 直美(MIYAMATSU, Naomi) 滋賀医科大学・医学部・教授 (90314145)、2007 年度～2008 年度
ID=19500609
介護予防におけるエビデンスに基づいた新しい高齢者の下肢筋力評価スケールの策定. 眞竹 昭宏(MATAKE, Akihiro) 山口県立大学・看護栄養学部・看護学科・教授 (70238921)、2007 年度～2008 年度
ID=19500619
膝痛を有する中高齢者における痛み自己管理モデルの構築に関する行動科学的研究. 岡 浩一郎(OKA, Koichiro) 早稲田大学・スポーツ科学学術院・准教授 (00318817)、2007 年度～2008 年度
ID=19530505
認知機能を改善する歩行運動プログラムの開発と実用化に関する研究. 大島 寿美子(OSHIMA, Sumiko) 北星学園大学・文学部・准教授 (60347739)、2007 年度～2008 年度

ID=19530546
改正介護保険における介護予防プログラムの有効性. 山崎 きよ子(YAMASAKI, Kiyoko) 九州保健福祉大学・社会福祉学部・教授 (20331150)、2007年度～2008年度
ID=19590630
東アジアの労働者におけるメタボリックシンドロームの疫学的研究. 李 麗梅 島根大・研究員 (20437560) 岩本 麻実子 島根大・医学部・助教 (90432616) 山崎 雅之(YAMASAKI, Masayuki) 島根大学・医学部・助教 (60379683)、2007年度～2008年度
ID=19590650
障害調整健康寿命(DALE)算出のための効用値の測定と評価指標としての DALE. 栗盛 須雅子(KURIMORI, Sugako) 首都大学東京・都市環境科学研究科・客員研究員 (20433609)、2007年度～2008年度
ID=19590659
高齢者保健・介護予防事業の医療費・介護費抑制効果に関する実証研究. 吉田 裕人(YOSHIDA, Hiroto) (財)東京都老人総合研究所・東京都老人総合研究所・研究員 (40415493)、2007年度～2008年度
ID=19592598
地域虚弱高齢者の介護予防的コミュニティ構築に関する研究. 尾形 由起子(OGATA, Yukiko) 福岡県立大学・看護学部・准教授 (10382425)、2007年度～2008年度
ID=19659128
リハビリ日数制限の是非を問う. 藤村 昌彦 広島大学・大学院・保健学研究科・講師 (70263689)、2007年度～2008年度
ID=19659607
長崎市斜面地域の在宅高齢者の QOL とコミュニティの関連. 中尾 理恵子 長崎大学・医歯薬学総合研究科・講師 (80315267)、2007年度～2008年度
ID=19700543
高齢者の生活機能向上および転倒予防のための複合課題トレーニングの開発. 池添 冬芽(IKEZOE, Tome) 京都大学・医学研究科・助教 (10263146)、2007年度～2008年度
ID=19700550
高齢者の認知機能に及ぼす身体活動・運動の影響に関する前向き研究. 安永 明智(YASUNAGA, Akitomo) 文化女子大学・現代文化学部・講師 (30289649)、2007年度～2008年度
ID=19700554
閉経後女性の骨密度低下抑制に対するカルシウム摂取と生化学指標との関連. 後藤 千穂(GOTO, Chiho) 名古屋文理大学・健康生活学部・助教 (90367855)、2007年度～2008年度
ID=19730353
利用者による選択のための介護サービス評価に関する研究. 村田 久(MURATA, Hisashi) 東京大学・総括プロジェクト機構ジェロントロジー寄付研究部門・助教 (80350445)、2007年度～2008年度

ID=19791639
口腔ケアに関する地域福祉学的研究. 渡部 芳彦(WATANABE, Yoshihiko) 東北福祉大学・健康科学部・准教授 (20360068)、2007 年度～2008 年度
ID=19791771
閉じこもり高齢者の背景要因の解明と災害対策を見据えた社会的支援の検討. 中村 恵子(NAKAMURA, Keiko) 名古屋市立大学・看護学部・助教 (60363917)、2007 年度～2008 年度
ID=19791775
高齢者の継続意欲と免疫機能の向上を目指した運動プログラムの開発と有効性の検証. 磯和 勅子(ISOWA, Tokiko) 三重大学・医学部・准教授 (30336713)、2007 年度～2008 年度
ID=19918011
介護予防の現場で用いる足指反力測定装置の開発. 岡田 秀希 山口大学・工学部・技術専門職員、2007 年度～2007 年度
ID=18203031
ソーシャルワークの特性に関する実証的研究ーケアマネジメントとの関連をもとに. 白澤 政和(SHIRASAWA, Masakazu) 大阪市大・教授 (20094477)、2006 年度～2009 年度
ID=18390200
介護予防にむけた社会疫学研究-健康寿命をエンドポイントとする大規模コホート研究. 近藤 克則(KONDO, Katsunori) 日本福祉大・社会福祉学部・教授 (20298558)、2006 年度～2009 年度
ID=18390603
在宅虚弱高齢者のスクリーニング方法と看護職による予防訪問プログラムの開発と評価. 河野 あゆみ(KONO, Ayumi) 大阪市大・看護学研究科・教授 (00313255)、2006 年度～2009 年度
ID=18390608
CBPR を用いる不眠予防・改善のための包括的介入プログラムの開発と評価. 尾崎 章子(OZAKI, Akiko) 東邦大・医学部・教授 (30305429)、2006 年度～2009 年度
ID=18500545
地域在宅高齢者の転倒予防法の開発ー変形性膝関節症と認知障害の影響を考えるー. 平田 総一郎(HIRATA, Soichiro) 神戸大・保健学研究科・教授 (80238360)、2006 年度～2009 年度
ID=18592454
前期高齢女性の近隣他者との交流関係を活用した主体的健康増進プログラムの開発. 大森 純子(OMORI, Junko) 聖路加看護大・看護学部・准教授 (50295391)、2006 年度～2009 年度
ID=18592456
都市型地域における地域住民と大学の協働による認知症・転倒予防の継続評価研究. 山田 艶子 聖路加看護大・看護学部・助手 (00290057) 新野 直明(NIINO, Naoakira) 桜美林大・自然科学系・教授 (40201686)、2006 年度～2009 年度
ID=18200039
低体力者向け動作筋力改善トレーニングシステムの構築と動作の質的評価方法の開発.

小林 寛道(KOBAYASHI, Kando) 東京大学・大学院・新領域創成科学研究科・特任教授 (60023628)、2006 年度～2008 年度
ID=18203028
病気・障害・ストレスへの積極的対処と人生再構築に焦点化した健康社会学的研究。 山崎 喜比古(YAMAZAKI, Yoshihiko) 東京大学・大学院・医学系研究科・准教授 (10174666)、 2006 年度～2008 年度
ID=18300233
沖縄における百歳長寿者の認知機能、体力医学的評価および生命予後に関する研究。 平良 一彦 琉球大学・観光産業科学部・教授 (40039540)、2006 年度～2008 年度
ID=18300234
地域・大学・自治体の連携と世代間交流による介護予防運動プログラムの実践と評価。 植木 章三(UEKI, Shouzou) 東北文化学園大学・健康社会システム研究課・教授 (00241802)、 2006 年度～2008 年度
ID=18310166
日本型ケア政策の展開とケアリング関係の再編に関するジェンダー・市場分析。 笹谷 春美(SASATANI, Harumi) 北海道教育大学・教育学部・教授 (00113564)、2006 年度～2008 年度
ID=18330046
医療データの計量手法による分析。 井伊 雅子(II, Masako) 一橋大学・大学院・経済学研究科・教授 (50272787)、2006 年度～2008 年度
ID=18390191
要介護高齢者における重度化要因の解明と介護予防効果の検証。 辻 一郎(TSUJI, Ichiro) 東北大学・大学院・医学系研究科・教授 (20171994)、2006 年度～2008 年度
ID=18500478
健康・スポーツ系 NPO 法人と地方自治体の協働による新しい公共サービス分野の創造。 水上 博司(MIZUKAMI, Hiroshi) 日本大学・文理学部・教授 (90242924)、2006 年度～2008 年 度
ID=18500538
骨格筋萎縮における細胞外基質の役割ー3次元細胞培養と廃用筋萎縮動物での検討。 小池 晃彦(KOIKE, Teruhiko) 名古屋大学・総合保健体育科学センター・准教授 (90262906)、 2006 年度～2008 年度
ID=18500600
「家事」ケアを主軸とする包括的生活支援のための高齢者介護供給システムに関する研究。 永田 志津子(NAGATA, Shizuko) 札幌国際大学短期大学部・総合生活学科・教授 (60198330)、 2006 年度～2008 年度
ID=18500645
高齢者の自立支援・認知症緩和をめざす療法的料理活動プログラムの開発。 湯川 夏子(YUKAWA, Natsuko) 京都教育大学・教育学部・准教授 (40259510)、2006 年度～2008 年度
ID=18530456
介護保険制度再編にともなうケアリング関係の変容とその対処方法に関する実証的研究。

山井 理恵(YAMANOI, Rie) 明星大学・人文学部・准教授 (40320824)、2006 年度～2008 年度 ID=18530468
家族レジリエンスを促進するソーシャルワーカーと家族の会話プログラムの開発的研究. 得津 慎子(TOKUTSU, Shiinko) 関西福祉科学大学・社会福祉学部社会福祉学科・教授 (50309382)、2006 年度～2008 年度 ID=18590317
加齢に伴うミトコンドリアゲノムの量的減少の分子基盤. 西垣 裕(NISHIGAKI, Yutaka) (財)東京都老人総合研究所・東京都老人総合研究所・研究副部長 (80296988)、2006 年度～2008 年度 ID=18590600
医療・介護・死亡情報を突合した小地域別疾病・寿命負荷に関する研究. 真鍋 芳樹(MANABE, Yoshiki) 香川大学・アドミッションセンター・教授 (40181812)、2006 年 度～2008 年度 ID=18592439
専門職と住民の協働による在宅閉じこもり高齢者への支援方法の検討. 古田 加代子(FURUTA, Kayoko) 愛知県立看護大学・看護学部・准教授 (00319253)、2006 年度 ～2008 年度 ID=18592461
もの忘れ相談および認知症の早期対応における地域支援システムに関する実証的研究. 中島 洋子(NAKASHIMA, Youko) 久留米大学・医学部看護学科・准教授 (20279235)、2006 年 度～2008 年度 ID=18650196
介護予防:認知症の発症・進行防止をめざした脳活性化リハビリテーションの確立. 山口 晴保 群馬大学・医学部・教授 (00158114)、2006 年度～2008 年度 ID=18659678
摂食・嚥下障害予防のためのトレーニングプログラム開発・介入基準作成および効果測定. 千葉 由美 東京医科歯科大学・大学院・保健衛生学研究科・助教 (10313256)、2006 年度～2008 年度 ID=18659689
高齢者介護予防対策の国際比較～高齢者の活力ある生活に向けて～. 松岡 広子 愛知県立看護大学・看護学部・准教授 (60249274)、2006 年度～2008 年度 ID=18700557
改正介護保険制度における「介護予防サービス」を支援するシステムの構築に関する研究. 石原 一成(ISHIHARA, Kazunari) 福井県立大学・学術教養センター・講師 (80347690)、2006 年度～2008 年度 ID=18720112
要支援高齢者とその周囲の人たちとの間で交わされる言語表現の傾向(様態)について. 小野田 貴夫(ONODA, Takao) 常葉学園短期大学・日本語日本文学科・講師 (20413247)、2006 年度～2008 年度

ID=18730455
高齢者のストレス対策における行動変容ステージモデルに基づく地域支援システム開発. 中村 菜々子(NAKAMURA, Nanako) 兵庫教育大学・大学院・学校教育研究科・准教授 (80350437)、2006 年度～2008 年度
ID=18791721
元気高齢者の健やかな老いを目指した小地域型介護予防活動の効果に関する縦断研究. 原口 由紀子 鳥取大学・医学部・講師 (30335525)、2006 年度～2008 年度
ID=0
PET を用いた高齢者運動至適強度の検討と転倒予防プログラムの無作為化比較試験. 島田 裕之 (財)東京都老人総合研究所・東京都老人総合研究所・特別研究員(PD)、2006 年度～2007 年度
ID=18300218
日本人高齢者を対象とした身体活動量の評価(二重標識水法と各種簡便法による検討). 木村 みさか(KIMURA, Misaka) 京都府立医科大学・医学部・教授 (90150573)、2006 年度～2007 年度
ID=18500441
新しい下肢筋力測定系を用いた高齢者の転倒リスク評価指標に関する研究. 川澄 正史(KAWASUMI, Masashi) 東京電機大学・未来科学部・教授 (40177689)、2006 年度～2007 年度
ID=18500452
脳内知覚情報伝達経路の分析による認知と身体運動制御との関連の検討. 勝又 宏(KATSUMATA, Hiromu) 大東文化大学・スポーツ・健康科学部・准教授 (40398350)、2006 年度～2007 年度
ID=18500558
要支援・要介護認定者の機能的体力水準の検討. 谷口 幸一(YAGUCHI, Koichi) 東海大学・健康科学部・教授 (20141161)、2006 年度～2007 年度
ID=18530446
フランス高齢者福祉サービスの実施体制と供給過程-西部の一県の実態を踏まえて. 原田 康美 東日本国際大学・福祉環境学部・准教授 (00406000)、2006 年度～2007 年度
ID=18530453
スウェーデンと日本の要介護高齢者に対するニーズ判定の方法に関する比較研究. 西下 彰俊(NISHISHITA, Akitoshi) 東京経済大学・現代法学部・教授 (80156067)、2006 年度～2007 年度
ID=18560264
安定歩行のための介護予防用ウェアラブルシステムの開発. 早川 恭弘(HAYAKAWA, Yasuhiro) 奈良工業高等専門学校・電子制御工学科・教授 (50180956)、2006 年度～2007 年度

ID=18592297
介護予防システムを包括した歯科衛生士教育の基礎的研究. 合場 千佳子(AIBA, Chikako) 日本歯科大学東京短期大学・その他・講師 (50413141)、2006 年度～2007 年度
ID=18592410
高齢者のための社会的サポートネットワークを促進する保健師活動方法に関する研究. 佐藤 紀子(SATO, Noriko) 千葉大学・看護学部・准教授 (80283555)、2006 年度～2007 年度
ID=18592425
独居高齢者の閉じこもり要因と介護予防プログラムに関する研究. 山田 美幸(YAMADA, Miyuki) 宮崎大学・医学部・助教 (00336314)、2006 年度～2007 年度
ID=18650202
左心室拡張時間と心筋負担を基準とする簡易運動処方システムの開発. 田中 宏暁 福岡大学・スポーツ科学部・教授 (00078544)、2006 年度～2007 年度
ID=18653052
「ふれあい・いきいきサロン」の開発促進と持続的発展に関する研究. 金井 敏 高崎健康福祉大学・健康福祉学部・准教授 (50337466)、2006 年度～2007 年度
ID=18700470
要介護の予防および改善を目的とした身体協働性トレーニングの有用性に関する研究. 大崎 暢子 愛知医大・医学部・助教 (00367749)、2006 年度～2007 年度
ID=18700479
高齢者の下肢筋力評価のための臀部・大腿部筋力計測器の開発. 山下 和彦 東京医療保健大学・医療保健学部・准教授 (00370198)、2006 年度～2007 年度
ID=18700570
地域虚弱高齢者の筋肉減少症予防を目的とした栄養・運動の総合的な支援システムの構築. 権 珍嬉 (財)東京都老人総合研究所・東京都老人総合研究所・研究員 (50415494)、2006 年度～2007 年度
ID=18791711
農村文化に基づく介護予防事業に関する民族誌学的研究. 齋藤 美華 東北大学・医学部・講師 (20305345)、2006 年度～2007 年度
ID=18791712
介護保険レセプトによる訪問看護サービス利用に関する縦断的実証研究. 柏木 聖代 筑波大学・大学院・人間総合科学研究科・講師 (80328088)、2006 年度～2007 年度
ID=18791739
老人福祉センター利用者に対する認知症予防のための早期介入プログラムの実施と評価. 細川 淳子 石川県立看護大学・看護学部・講師 (70324085)、2006 年度～2007 年度
ID=18791748
介護予防活動における尿失禁予防・改善のための看護介入のあり方に関する研究. 中田 晴美 東京女子医科大学・看護学部・助教 (90385469)、2006 年度～2007 年度
ID=18890239
在宅高齢患者に対する薬剤処方の実態および安全性の向上に関する研究. 庭田 聖子 国立保健医療科学院・疫学部・協力研究員 (70435709)、2006 年度～2007 年度

ID=17330198
高等学校福祉科教育の改善・充実および高度化に資する教師教育の体系化に関する研究. 田村 真広(TAMURA, Masahiro) 日本社会事業大学・社会福祉学部・准教授 (90271725)、2005年度～2008年度
ID=17390511
歯の喪失は痴呆のリスクになるか・MRI による長期前向き研究. 菊池 雅彦(KIKUCHI, Masahiko) 東北大学・病院・教授 (60195211)、2005年度～2008年度
ID=0
高齢者の自立支援体制の拡充を目指した社会参加活動の促進と QOL との関係. 白井 こころ 大阪大学・医学系研究科・特別研究員(PD)、2005年度～2007年度
ID=17209007
α-アドレナリン受容体発現と圧反射性筋血流調節:動物とヒトの相方向性研究. 能勢 博(NOSE, Hiroshi) 信州大学・大学院・医学系研究科・教授 (40128715)、2005年度～2007年度
ID=17300226
介護予防と生活習慣病予防を両立させる中高齢者のトレーニング指針の作成. 宮地 元彦(MIYACHI, Motohiko) 独立行政法人国立健康・栄養研究所・健康増進プログラム・運動ガイドラインプロジェクトリーダー (60229870)、2005年度～2007年度
ID=17390194
地域高齢者の「虚弱(frailty)」の特徴、成因および予防法の解明. 新開 省二(SHINKAI, Shoji) (財)東京都老人総合研究所・東京都老人総合研究所・研究部長 (60171063)、2005年度～2007年度
ID=17390526
要介護者の居宅や施設で歯科保健、医療、介護をより確実にする専用機器の開発. 野村 章子(NOMURA, Akiko) 明倫短期大学・歯科技工士学科・教授 (80134948)、2005年度～2007年度
ID=17390566
全身健康に影響する口腔機能パラメーターの探求に関する疫学研究. 竹原 直道(TAKEHARA, Tadamichi) 九州歯科大学・歯学部・教授 (00038879)、2005年度～2007年度
ID=17404016
スウェーデンにおける高齢者の在宅継続支援に関する研究. 田中 智子(TANAKA, Tomoko) 兵庫県立大学・環境人間学部・准教授 (20197453)、2005年度～2007年度
ID=17406024
西ニューギニア地域における、神経難病の実態に関する研究. 奥宮 清人(OKUMIYA, Kiyohito) 総合地球環境学研究所・研究部・准教授 (20253346)、2005年度～2007年度
ID=17500130
高齢者の安全な生活と痴呆予防のための口腔機能とバイタルサインの無意識・無拘束計測. 松村 雅史(MATSUMURA, Masafumi) 大阪電気通信大学・医療福祉工学部・教授 (80209618)、2005年度～2007年度

ID=17500473
高齢者メタボリック症候群における動脈硬化病変・ADL・精神機能に対する運動の効果. 櫻井 孝(SAKURAI, Takashi) 神戸大学・医学部附属病院・講師 (50335444)、2005 年度～2007 年度
ID=17500557
地域にあった半定量食物摂取頻度調査票の妥当性および再現性の検討. 森 圭子(MORI, Keiko) 金城学院大学・金城学院大学生生活環境学部・教授 (50259272)、2005 年度～2007 年度
ID=17530398
超高齢社会における広域合併が生活支援システムに与える影響に関する調査研究. 浜岡 政好(HAMAOKA, Masayoshi) 佛教大学・社会学部・教授 (80066422)、2005 年度～2007 年度
ID=17530439
福祉コミュニティづくりにおける「地域通貨」の意義と役割に関する調査研究. 横山 孝子 長野大・社会福祉学部・助教授 (90340041) 鷹野 和美(TAKANO, Kazumi) 長野大学・社会福祉学部・教授 (20316277)、2005 年度～2007 年度
ID=17530513
高齢者のための心理療法の開発とその実際の展開-包括的セラピーを中心に-. 原 千恵子(HARA, Chieko) 東京福祉大学・社会福祉学部・教授 (30320823)、2005 年度～2007 年度
ID=17590539
地域在住高齢者の抑うつ頻度とその危険因子-総合的機能評価による縦断的検討-. 和田 泰三 京大・医学(系)研究科(研究院)・助手 (90378646) 西永 正典(NISHINAGA, Masanori) 高知大学・医学部・准教授 (50265245)、2005 年度～2007 年度
ID=17590544
高齢者 ADL・QOL の関連要因とその後の医療・介護との関連—10 年後追跡調査. 渡部 和子 愛媛大・医学(系)研究科(研究院)・助手 (70380219)、2005 年度～2007 年度
ID=17590568
地域在宅高齢者における認知機能低下を予測する生理的・生化学的マーカーの開発. 藤原 佳典(FUJIWARA, Yoshinori) (財)東京都老人総合研究所・東京都老人総合研究所・研究副部長 (50332367)、2005 年度～2007 年度
ID=17592318
介護予防と在宅生活の継続を支援するケアマネジメント指針の開発. 森下 安子(MORISHITA, Yasuko) 高知女子大学・看護学部・准教授 (10326449)、2005 年度～2007 年度
ID=17592321
高齢者の体型と歩行パターンに応じた生活行動範囲回復の為のセルフケアプログラム開発. 竹崎 久美子(TAKEZAKI, Kumiko) 高知女子大学・看護学部・准教授 (60197283)、2005 年度～2007 年度
ID=17592334
男性高齢者にむけた介護予防サービス開発に関する研究.

鳩野 洋子(HATONO, Yoko) 国立保健医療科学院・公衆衛生看護部・室長 (20260268)、2005 年度～2007 年度
ID=17601004
大都市の人口空洞化地域における高齢者の自立支援のためのサテライトシステムの構築. 星野 明子(HOSHINO, Akiko) 京都大学・医学研究科・准教授 (70282209)、2005 年度～2007 年度
ID=17650200
中・高齢者の健康増進・介護予防を目的とした運動処方システムの効果に関する研究. 木村 貞治 信州大学・医学部・教授 (70252111)、2005 年度～2007 年度
ID=17659708
虚弱高齢者と家族の寝たきり恐怖の実態の解明と心身機能に応じた安全な生活の指導. 征矢野 あや子 信州大学・医学部・准教授 (20281256)、2005 年度～2007 年度
ID=17700521
内臓脂肪のオーダーメイド減量プログラム及び効果的なリバウンド防止法の開発. 大蔵 倫博 筑波大学・大学院・人間総合科学研究科・講師 (60396611)、2005 年度～2007 年度
ID=17730347
GIS(地理情報システム)を用いた高齢者の「閉じこもり」発生要因の研究. 平井 寛 日本福祉大学・COE 推進室・COE 主任研究員 (20387749)、2005 年度～2007 年度
ID=17791588
日帰り温泉を利用した地域住民への健康増進プログラムの開発-温泉の利用状況と身体的・精神的健康への効果の検証と活用-. 月田 佳寿美 福井大学・医学部・講師 (50303368)、2005 年度～2007 年度
ID=17791693
要支援者の要介護への移行要因からみた介護予防プログラムの開発. 和泉 京子 大阪府立大学・看護学部・准教授 (80285329)、2005 年度～2007 年度
ID=17300216
高齢者の転倒・骨折・介護予防のための運動処方・生活指導・教育プログラムの検討. 武藤 芳照(MUTOH, Yoshiteru) 東京大学・大学院教育学研究科・教授 (10143330)、2005 年度～2006 年度
ID=17390151
老年学複合研究拠点の基盤形成. 井口 昭久(IGUCHI, Akihisa) 名古屋大学・大学院医学系研究科・教授 (20109763)、2005 年度～2006 年度
ID=17500406
子どもの咬合力と咀嚼筋形態の横断的資料の収集および運動がそれらの発達に及ぼす影響. 眞竹 昭宏(MATAKE, Akihiro) 山口県立大学・看護学部・教授 (70238921)、2005 年度～2006 年度
ID=17500481
介護予防やよび健康増進のための科学的なメディカルフットケアの実現に関する研究. 小山 裕徳(KOYAMA, Hironori) 東京電機大学・工学部・教授 (00120113)、2005 年度～2006 年度

ID=17500522
地域在住高齢者の低栄養早期対応介入プログラム効果検証. 湯川 晴美(YUKAWA, Harumi) 國學院大學栃木短期大学・家政学科・助教授 (00260307)、2005 年度～2006 年度
ID=17590535
高齢転居者に対する介入研究:介護予防と productivity 向上をめざして. 甲斐 一郎(KAI, Ichiro) 東京大学・大学院・医学系研究科・教授 (30126023)、2005 年度～2006 年度
ID=17591194
高齢者のうつ病早期治療と自殺予防を目的とする都市型地域介入プログラムの開発. 栗田 主一(AWATA, Shuichi) 東北大学・大学院医学系研究科・非常勤講師 (90232082)、2005 年度～2006 年度
ID=17650165
脳機能および身体機能の活性化における「ゲーム機リハビリ」の有用性. 高杉 紳一郎 九州大学・大学病院・助手 (40253447)、2005 年度～2006 年度
ID=17659183
要介護痴呆の新しいリスクファクターに関する地域コホート研究. 磯 博康 大阪大学・医学系研究科・教授 (50223053)、2005 年度～2006 年度
ID=17700525
高齢者の総合的機能向上を目指した複合運動トレーニングの有効性. 池添 冬芽 京都大学・医学部(保健学科)・助手 (10263146)、2005 年度～2006 年度
ID=17791678
鳥取県の農業従事高齢者における農作業の運動効果に関する研究. 谷村 千華 鳥取大学・医学部・助手 (90346346)、2005 年度～2006 年度
ID=17791689
在宅高齢者の介護予防のための生活機能評価尺度の開発. 金谷 志子 福井県立大学・看護福祉学部看護学科・助教 (00336611)、2005 年度～2006 年度
ID=0
レム睡眠期における注意・認知過程の検討. 高原 円 広島大学・大学院総合科学研究科・特別研究員(PD)、2005 年度～2006 年度
ID=17659192
血清 B ₂ ミクログロブリン;老化および循環器疾患のリスクマーカーとしての新たな意義. 新開 省二 (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団・東京都老人総合研究所・研究部長 (60171063)、2005 年度～2005 年度
ID=0
地域在宅超高齢者における精神機能低下予防を目的とした訪問型介入プログラムの開発. 岩佐 一 日本大学・文学研究科・特別研究員(DC2)、2005 年度～2005 年度
ID=16200042
スポーツ科学の観点からみた介護予防プログラムの開発とその運営システムの構築. 村岡 功(MURAOKA, Isao) 早稲田大学・スポーツ科学学術院・教授 (80112712)、2004 年度～2007 年度

ID=16330092
地域ケア・システムの展開過程にかんする社会学的比較研究. 永井 彰(NAGAI, Akira) 東北大学・大学院・文学研究科・准教授 (90207960)、2004 年度～2007 年度
ID=16390636
摂食・嚥下障害患者への包括的医療・看護における臨床評価と安全性の基準作成. 千葉 由美(CHIBA, Yumi) 東京医科歯科大学・大学院・保健衛生学研究科・助教 (10313256)、2004 年度～2007 年度
ID=16390651
保健所保健師の専門的・総合的調整機能を強化する教育プログラムと教材の開発. 岡本 玲子(OKAMOTO, Reiko) 岡山大学・大学院・保健学研究科・教授 (60269850)、2004 年度～2007 年度
ID=16500486
生活時間調査による新家事労働の実態把握とアンペイド・ワークの社会的評価方法の開発. 天野 晴子(AMANO, Haruko) 日本女子大学・家政学部・准教授 (50299905)、2004 年度～2007 年度
ID=16591885
痴呆性老人に対する摂食・嚥下リハビリテーションと口腔ケアシステム構築に関する研究. 植田 耕一郎(UEDA, Koichiro) 日本大学・歯学部・教授 (80313518)、2004 年度～2006 年度
ID=16592196
保健活動における訪問指導の効果的推進方法に関する研究. 宮崎 美砂子(MIYAZAKI, Misako) 千葉大学・看護学部・教授 (80239392)、2004 年度～2006 年度
ID=16592222
へき地における高齢者の健康づくりと介護予防のための地域ケア体制構築に関する研究. 春山 早苗(HARUYAMA, Sanae) 自治医科大学・看護学部・教授 (00269325)、2004 年度～2006 年度
ID=16592225
都市高齢者の健康寿命延伸の推進活動に関する追跡研究. 桜井 尚子(SAKURAI, Naoko) 弘前学院大学・看護学部・教授 (80256388)、2004 年度～2006 年度
ID=16700498
行動科学に基づく身体活動・運動促進プログラムに活用する教材の開発. 岡 浩一朗 早稲田大学・スポーツ科学学術院・助教授 (00318817)、2004 年度～2006 年度
ID=16300224
高齢者の生活・認知機能維持に資する運動療法に関する縦断研究. 鳥羽 研二(TOBA, Kenji) 杏林大学・医学部・教授 (60155546)、2004 年度～2006 年度
ID=16300226
介護予防を目的とした地域虚弱高齢者の総合的な健康づくり支援システムの構築. 金 憲経(KIM, Hunkyung) (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団・東京都老人総合研究所・研究副部長 (20282345)、2004 年度～2006 年度

ID=16390187
高齢期の虚弱化や転倒発生と血中ビタミンD濃度の関連についての前向き疫学研究. 鈴木 隆雄(SUZUKI, Takao) (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団・東京都老人総合研究所・副所 長 (30154545)、2004 年度～2006 年度
ID=16530376
社会福祉実践における生活場面面接の理論と方法の体系化に関する研究～実践的技法と教育訓練 プログラムの開発～. 小嶋 章吾(KOJIMA, Shogo) 国際医療福祉大学・医療福祉学部・准教授 (90317644)、2004 年度 ～2006 年度
ID=16500499
高齢社会における在宅生活支援のあり方に関する研究. 村田 順子(MURATA, Junko) 東大阪大学短期大学部・家政学科・助教授 (90331735)、2004 年 度～2006 年度
ID=16530369
対応困難な要介護高齢者へのソーシャルワーカーとホームヘルパーの協働に関する研究. 寫末 憲子(SHIMASUE, Noriko) 埼玉県立大学・保健医療福祉学部・講師 (80325993)、2004 年 度～2006 年度
ID=16590528
地域高齢者の摂食・嚥下障害評価指標の開発とその応用性に関する検討. 三浦 宏子(MIURA, Hiroko) 九州保健福祉大学・保健科学部・教授 (10183625)、2004 年度～2005 年度
ID=16592190
一人暮らし高齢者に対する自立支援プログラムの開発と評価に関する研究. 田高 悦子(TADAKA, Etsuko) 東京大学・大学院・医学系研究科・講師 (30333727)、2004 年度 ～2005 年度
ID=16730302
介護予防活動支援者としての中高年者の社会参加推進に関する研究. 小林 江里香 (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団・東京都老人総合研究所・研究員 (10311408)、 2004 年度～2005 年度
ID=16500450
虚弱高齢者の体力・運動能力・筋量の実態と生活要因との関連. 木村 みさか(KIMURA, Misaka) 京都府立医科大学・医学部・教授 (90150573)、2004 年度～2005 年度
ID=15390200
介護予防を目指した予知因子解明と事業評価を志向した高齢者コホート研究. 尾崎 米厚(OSAKI, Yoneatsu) 鳥取大学・医学部・助教授 (10325003)、2003 年度～2006 年度
ID=15500504
長期介入による大規模高齢者集団の栄養状態改善が余命および活動的余命に及ぼす影響. 熊谷 修(KUMAGAI, Shu) 人間総合科学大学・人間科学部・教授 (80260305)、2003 年度～2006 年度
ID=15592340
高齢者に対する記憶プログラムの拡充と効果測定及び痴呆高齢者への介入プログラム構築.

井出 訓(IDEM, Satoshi) 北海道医療大学・看護福祉学部・准教授 (10305922)、2003 年度～2006 年度
ID=15592348
高齢者の障害進行予防のための医療・看護と介護サービスのあり方に関する疫学研究. 三徳 和子(MITOKU, Kazuko) 川崎医療福祉大学・医療福祉学部・教授 (60351954)、2003 年度～2006 年度
ID=15604002
美術による人間と諸施設の活性化 -幼稚園、介護施設を中心として-. 横尾 哲生(YOKOO, Tessei) 埼玉大学・教育学部・教授 (10230640)、2003 年度～2006 年度
ID=15680017
地域保健現場における睡眠生活指導が高齢者の心身の健康に与える効果の実証的研究. 田中 秀樹 広島国際大学・人間環境学部・助教授 (30294482)、2003 年度～2005 年度
ID=15700398
地域における高齢者指導システムの開発-仲間との交流を目指す運動プログラムの展開-. 大橋 奈希左 上越教育大学・学校教育学部・講師 (90283043)、2003 年度～2005 年度
ID=15791338
介護支援専門員のケアマネジメント能力向上のための学習ニーズに関する研究. 杉田 由加里 千葉大学・大学院・看護学研究科・助手 (50344974)、2003 年度～2005 年度
ID=15791339
介護保険による在宅ケアプラン作成方法の評価. 森田 久美子 東京医科歯科大学・大学院・保健衛生学研究科・助手 (40334445)、2003 年度～2005 年度
ID=15300236
高齢者の生活機能の維持及び増進を目的とした介入プログラムの開発と評価. 芳賀 博(HAGA, Hiroshi) 東北文化学園大学・大学院・健康社会システム研究科・教授 (00132902)、2003 年度～2005 年度
ID=15330130
離島の離島における高齢者の自立生活と地域の役割に関する研究. 田畑 洋一 鹿児島国際大・福祉社会学部・教授 (20163652) 小窪 輝吉(KOKUBO, Teruyoshi) 鹿児島国際大学・福祉社会学部・助教授 (30153521)、2003 年度～2005 年度
ID=15330152
高齢者の心理的特性と心理学的援助の研究. 上里 一郎(AGARI, Ichiro) 広島国際大学・人間環境学部・教授 (50034559)、2003 年度～2005 年度
ID=15390582
高齢者における心身と口腔機能との関係を解明するための縦断介入研究. 玉澤 佳純 東北大・歯学部附属病院・講師 (10124603) 服部 佳功(HATTORI, Yoshinori) 東北大学・大学院・歯学研究科・助教授 (40238035)、2003 年度～2005 年度

ID=15500479
個人参加型健康管理のあり方に関する研究. 芦田 信之(ASHIDA, Nobuyuki) 甲子園大学・現代経営学部・教授 (50184164)、2003 年度～2005 年度
ID=15530364
痴呆高齢者生活支援における「主訴」への対応能力とその最適組織化に関する実証的研究. 小笠原 浩一(OGASAWARA, Koichi) 東北福祉大学・総合福祉学部・教授 (30204051)、2003 年度～2005 年度
ID=15570201
閉じこもり独居高齢者の生体リズムの生理的多型性と生活の質の改善に関する研究. 石川 隆志(ISHIKAWA, Takashi) 秋田大学・医学部・助教授 (20241680)、2003 年度～2005 年度
ID=15590564
在宅生活自立高齢者の閉じこもりに関する縦断的研究. 渡辺 美鈴(WATANABE, Misuzu) 大阪医科大学・医学部・講師 (30084924)、2003 年度～2005 年度
ID=15590566
地域における介護予防と健康づくり活動の総合的展開に関する研究. 松田 晋哉(MATSUDA, Shinya) 産業医科大学・医学部・教授 (50181730)、2003 年度～2005 年度
ID=14204083
ヒトを含む霊長類におけるロコモーションの発達・加齢. 濱田 穰(HAMADA, Yuzuru) 京都大学・霊長類研究所・助教授 (40172978)、2002 年度～2005 年度
ID=14208003
体幹深部筋力強化トレーニングマシンシステムの開発・応用. 小林 寛道(KOBAYASHI, Kando) 東京大学・大学院・総合文化研究科・教授 (60023628)、2002 年度～2005 年度
ID=14310098
男性独居高齢者の生活困難の特性と保健福祉サービスのあり方に関する研究. 西口 守(NISHIGUCHI, Mamoru) 東京家政学院大学・人文学部・助教授 (30306229)、2002 年度～2005 年度
ID=14572252
高齢者の転居後の生活適応を促すための看護職による早期介入プログラムの開発と効果. 工藤 禎子(KIDO, Yoshiko) 北海道医療大学・看護福祉学部・助教授 (00214974)、2002 年度～2005 年度

5. まとめ

- (1) わが国において実施された介護予防事業等に関する調査研究のうち、医学中央雑誌に掲載された日本語知見の検索を行い、原著論文 596 件、学会抄録 883 件の書誌情報を収集し、データベース化した。
- (2) わが国において実施された介護予防事業等に関する調査研究のうち、厚生労働科学研究費補助金および文部科学省科学研究費補助金のデータベースの検索を行い、前者 87 件、後者 219 件の情報を収集し、データベース化した。
- (3) 平成 21 年度に作成した PubMed 収載の介護予防プログラムに関する英語知見のエビデンステーブルについて、検索可能なデータベースを作成し、Web 上で公開した。
(<http://www.preventive-care.net>)。